

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人かわさき福祉相談センター

②施設・事業所情報

名称：川崎市河原町保育園	種別：保育所版
代表者氏名：大谷里美	定員（利用人数）： 210（206） 名
所在地：〒212-0007 神奈川県川崎市幸区河原町1番地	
TEL：044-522-6650	ホームページ：https:// www.city.kawasaki.jp/450/ page/0000031733.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和47年3月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市	
職員数	常勤職員： 35 名 再任用職員数 1 名 会計年度任用職員数 21 名
専門職員	（園長） 1 名 （副園長） 1 名
	（主任） 26 名 （保育士） 11 名
	（保育者・保育補助） 13 名 （保健師・看護師） 1 名
	（栄養士） 1 名 （用務員） 3 名
施設・設備 の概要	（保育室） 11 室 （調乳室・配膳室） 1 室
	（トイレ） 3 室 （沐浴室・洗濯室） 1 室
	（ホール） 1 室 （倉庫） 1 室
	（休憩室・更衣室） 1 室 （調理室） 1 室
	（相談室） 1 室 （事務室） 1 室
	屋外（園庭） 1 屋外（裏庭） 1

③理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在園児や地域の子どもたちの健やかな成長を願い、それぞれの家庭への援助と成長の喜びを共感していく。 <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心も身体も健康で意欲的に遊べる子ども ・ 自分も友だちも大切にできる子ども ・ よく聴きよく考え行動できる子ども <p>【保育基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伸び伸びと遊び、生き生きと生活できる保育園 ・ 安心して子どもを預けられ子育ての喜びが共感できる保育園 ・ 保育園の機能を活かし地域に開かれた保育園
--

④施設・事業所の特徴的な取組

【人的サービス面】

- 1 子どもや保護者の気持ちを読み取り、その時必要な保育や対応を行う
- 2 気持ちよく過ごし、また明日も来ようと思える、挨拶や言葉かけ
- 3 悩みや困り感に寄り添い、話し合い、解決に向かえる人間関係

【設備・環境面】

- 1 遊びを自由に選択でき、遊びこめる環境
- 2 子どもが作成した作品等により季節を感じられる環境
- 3 子どもたちや保護者のプライバシーを守ることができる環境

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年9月15日（契約日） ～ 2021年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成26年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【区のセンター園として「新たな公立保育園」の基本方針に基づいた活動の推進】

区のセンター園として、「新たな公立保育園」の基本方針に基づき、地域支援事業や増えている民間保育所と連携して、保育の質向上を目的とした事業に取り組んでいます。今年度はコロナ禍で十分な実施はできませんでしたが、今できることを検討して、在園児だけでなく、地域の子ども・子育ての支援に取り組んでいます。併せて、民間も含めた区内全園の方針・活動の基準となることを常に考えて計画実現を目指した活動を行っています。

【多文化理解への取り組み】

近年、外国につながる児童の入所が多くなっており、日本語を母語としない保護者とのコミュニケーションに工夫をしています。そこで得た知識をもとに、保護者の協力を得て園としてプロジェクトを興し、子ども・保護者が世界のさまざまな国や文化を知り、理解を深める工夫を行っています。多文化を理解することで、多様性への理解に繋げていくことを目指しています。

【豊富な人材と育成計画の充実】

園内には経験を重ねた職員が多く、計画に則った人材育成の体制ができています。センター園として、広い視野で臨機応変に対応できる能力が求められることを意識しています。地域の子どもたちが質の良い保育を受けられるように、これまでに培ってきた力を活かした保育を実施しています。

◇改善を求められる点

【大規模園ゆえの情報伝達の改善】

知識・経験豊かな職員が多く、人員配置や勤務体制の面では働きやすい職場環境が整えられています。しかし、職員数が多いことで、全員集合しての会議開催や対面での意見交換の実施は難しい状況です。また、決定事項等の伝達も口頭やノートへの記載となり、即時周知と確認が課題に挙がっています。アプリを活用する等、即時の全員周知と確認手段の検討が望まれます。

【老朽化や環境整備についての対策と保護者への説明の工夫】

各教室・ホール、広い園庭など、子どもたちが伸び伸びと遊ぶ環境が整えられていますが、バリアフリー化やたわみ、エアコンの修理等の建物の構造・環境整備の問題については、保育士の努力では補えない部分も認められます。また、老朽化や裏庭の使用について、保護者からの不安や疑問を解消する説明が十分ではない様子も見受けられます。今後の対策について協議・改善が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価の受審をきっかけに、職員間で保育について再度、見直す機会を持つことができました。特に保護者の方からのアンケート結果は貴重な意見として捉え、職員一人一人が、日頃の自分自身の保育や対応を振り返り、保育で大切にしたい事や対応するときに意識すべき事等について討議を深める事ができました。ここで職員の共通認識を持てたことは大きく、保育基本方針に掲げた、「伸び伸びと遊び、生き生きと生活できる保育園」「安心して子どもを預けられ子育ての喜びが共感できる保育園」「保育園の機能を活かし地域に開かれた保育園」を、全職員で目指していきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり